

# Cente Technical Information

発行番号	101-0070	Rev	第1版	発行日	2013/03/11
題名	複数ドライブでメタデータ保護機能を有効にした場合に正常に修復できない場合がある不具合について (メタデータ保護機能使用時)				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.00～Ver6.01				
影響API	fopen, fputc, fputs, fwrite, rename, remove, move, chg_attr, chg_tstamp, chg_filelen, mkdir, rmdir, fopen_uni, rename_uni, remove_uni, move_uni, chg_attr_uni, chg_tstamp_uni, mkdir_uni, rmdir_uni, ini_journal, ini_journal_uni				
関連資料	なし				
<b>【現象】</b> 複数ドライブでメタデータ保護機能を有効にした場合、メタデータ保護用のメモリが誤った情報になり、正しくデータを書き戻せない場合があります。					
<b>【原因】</b> メタデータ保護用のメモリに排他制御されていない部分があった為、他のドライブのジャーナルファイルを誤って書きかえてしまいました。 そのため修復用データが誤った情報になり、その後の修復処理で正しくデータを書き戻せませんでした。					
<b>【回避方法】</b> 複数ドライブでメタデータ保護機能を使用するにはVer6.10へのバージョンアップが必要です。 詳細は弊社サポートまでお問い合わせ下さい。					
以上					